

令和6年度の重点課題

- ・全国平均値（令和5年度）を上回る種目が、9/16=56.2%と前年度より1種目減っている。特に、男子が-5種目となっており、男子の対策が急務である。
- ・女子は、「握力」「上体起こし」「50m走」が昨年度と比較して改善したが、「20mシャトルラン」は今年新たに全国平均値を下回った。
- ・体力合計点は県平均値を上回ったが、全国平均値を男女とも下回った。（12月）
- ・「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」の県・全国との差が大きい。（12月）

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 体育授業の改善
  - ・体力低下の実態を分析し、運動の楽しさや特性に触れるような体育の授業を考え、実践するために、長期休業を活用し、研修を行う。
- 平均値の提示
  - ・新体力テストの結果から、課題の見られる種目の全国平均値を提示し、授業に目標を持って取り組ませる。
- 運動に慣れさせる
  - ・学級遊びを積極的に رفتり、児童会を中心に学年間での遊びを推奨したりする。
  - ・長期休業での家庭学習に体力づくりを取り入れ、継続的に体を動かすことに慣れさせる。
  - ・講師を招いてアクティブチャイルドプログラムを実施し、運動に苦手意識がある児童も楽しく運動をすることができた。その後、体育の授業の予備運動としても取り入れた。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.75	21.51	31.72	41.26	46.58	9.75	146.34	21.92	52.32	第5学年	14.95	18.33	37.91	38.08	38.54	9.77	137.41	14.05	53.46

県平均値かつ全国平均値未滿

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和6年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.75	21.51	31.72	41.26	46.58	9.75	146.34	21.92	52.32	第5学年	14.95	18.33	37.91	38.08	38.54	9.77	137.41	14.05	53.46

県平均値かつ全国平均値未滿

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	77.78	18.52	3.70	0.00	第5学年	57.14	35.71	3.57	3.57

学校独自の意識調査

肯定的評価の回答の割合（％）	低学年	高学年
1. 運動やスポーツをすることは好きですか。	94	92
2. 自主的に運動をしたいと思えますか。	86	86
3. 好きなスポーツや体育の運動は何ですか。		
・走る運動	24（2位）	14（5位）
・跳ぶ運動	7（6位）	9（4位）

重点課題

情意面での課題

- ・運動やスポーツをすることが好きと答える5年児童の割合が男子77.78%、女子57.14%で、好きと答える女子の割合が男子よりも20.64%少ない。
- ・運動に対する肯定的評価は多いが、実際に外遊びをしている児童には偏りがある。特に、女子児童は学級遊びでなければ、外遊びをする児童が少ない。

体力面での課題

- ・全国平均値（令和6年度）を上回る種目が、4/16=20%と前年度より4種目減っている。男女ともにそれぞれ-2種目となっており、対策が急務である。
- ・男女ともに、「ボール投げ」が昨年度と比較して改善したが、「握力」「長座体前屈」「立ち幅跳び」は今年新たに全国平均値を下回った。

令和8年度の重点目標値

- 新体力テストの県平均かつ全国平均値を上回る種目を75%以上にする。（12/16種目）
- 「運動やスポーツをすることが好き」と答える児童の割合を、男女とも60%以上とする。
- 「長座体前屈」を県平均値かつ全国平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育授業の改善
  - ・「毎月のストレッチ運動と筋力トレーニング運動」として、筋力アップと柔軟性の向上に特化した運動を一種目ずつ紹介し、準備運動の際に継続的に行うことで、柔軟性や筋力の向上を図る。
- 平均値の提示
  - ・新体力テストの結果から、課題の見られる種目の全国平均値を提示し、授業に目標を持って取り組ませる。
- 重点取り組み課題の提示
  - ・児童に対して、長座体前屈の結果と平均値を提示し、自分の記録をよりよくしようという態度を引き出す。

体育の授業以外で行う取組内容

- 継続的なトレーニングの実施
  - ・朝の会、帰りの会などの時間に手軽にできるトレーニングを紹介し、継続的に運動することで、筋力の向上を図る。
- 体育委員会による実践
  - ・ストレッチ運動や筋力トレーニングを実際に体育委員に実践させ、動画で分かりやすく示し、指導法を統一する。また、「鬼遊び」などのクラス遊びを紹介し、学級遊びの推進を図る。
- 家庭での運動習慣
  - ・毎月紹介するストレッチ運動と筋力トレーニング運動はスライドとして整理し、Google classroomを用いて児童に共有することで、各家庭